

◎ 編集後記 ◎

本号は日常生活動作 (ADL) を特集した。ADL はリハビリテーション医学をもっとも特徴づけるものとして、古くて新しい課題をつねに包含している。

ADL は病院・施設で生まれたが、障害者の生活の場が多様化し、リハビリテーションの場も施設から地域へと大きく拡がってきた。

障害者の生活環境の多様化とともに、ADL は新たな課題を抱えるとともに、その対象範囲は拡大した。

本特集では、現在理学療法 (士) の大きな課題となっている在宅 ADL を中心にして採り上げた。

在宅 ADL は入院中の初期から退院後のゴールを決めて家族 (介護者) を含めて、その ADL プログラムが検討されねばならないとし、それを実践している、「退院を受けての日常生活動作の指導・訓練」の論文は理学療法士にとって大きな示唆を与えるものがある。

総論的な天満論文は理学療法士の視点から ADL, APDL の問題にもっと深く突込んでほしかった。

在宅の日本的 ADL を考える藤林論文は、日本特有の気候、風土、生活習慣を挙げて日本的 ADL の重要性を強調した。HKI ベッドはまさしく日本式ベッドと言えるものだ。

中石論文は片麻痺患者の移動能力が



ADL に及ぼす影響について述べた。

Parkinson 病患者の在宅 ADL は進行性疾患がもつ問題として、多くのものが課題として残されている。

慢性関節リウマチ患者の在宅における ADL とそのくふうは、実践活動からいろいろなくふう例が述べてあり、参考となる。疼痛の問題は QOL の上からも、何とかしなければいけない。

筋萎縮性側索硬化症患者の ADL は、進行疾患のもついろいろな特性があるので、難しい問題がある。

脳性麻痺者の在宅 ADL とそのくふうは、ライフステージに応じて対応しなければならないし、特に地域社会との関連を重視する必要がある。

いずれの論文もよく書かれており、それぞれ力作である。特集の企画者としておおいに感謝の辞を述べたい。

(松村 秩)

●編集顧問●

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長
五 味 重 春
東京都立医療技術短期大学
学長
津 山 直 一
国立身体障害者リハビリテ
ーションセンター総長
横 山 一 巖
七沢リハビリテーション
病院脳血管センター院長
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

安 藤 徳 彦
神奈川県総合リハビリテ
ーションセンター
上 田 敏
東京大学リハビリテ
ーション部
鶴 見 隆 正
高知医科大学附属病院
奈 良 勲
金沢大学医療技術短期大学部
福 屋 靖 子
筑波大学
松 村 秩
東京都立医療技術短期大学
吉 尾 雅 春
協和会病院

●編集同人●

伊 藤 日出男
今 川 忠 男
宇都宮 初 夫
大喜多 潤
大 田 近 雄
大 橋 ゆかり
大 峯 三 郎
金 子 誠 喜
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
高 田 京 子
高 橋 正 明
武 富 由 雄
寺 山 久美子
富 岡 詔 子
長 澤 弘
橋 元 隆
濱 出 茂 治
半 田 健 壽
藤 沢 しげ子
前 田 哲 男
牧 田 光 代
松 沢 博
松 下 起 士
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 重 範
宮 本 省 三
矢 谷 令 子
山 下 隆 昭
山 本 和 儀
米 田 睦 男

理学療法ジャーナル

(第 25 巻 第 6 号)

1991 年 6 月 15 日発行 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 1,442 円 (本体 1,400 円)

(配送料 61 円)

年ぎめ予約購読料 16,440 円
(本体 15,961 円)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 社内案内 (03) 3817-5600

本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 渡邊・細田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

広告室直通 (03) 3817-5696

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 三報社印刷 (株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 医薬広告 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1991, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。